

# 浦安小学校地区児童育成クラブ

社会学部人間心理学科

3年 石井 悠香

## 1. 実習企業（団体）の概要

児童育成クラブは、保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校1年生から4年生までの児童と、療育手帳などの交付を受けている特別な支援を必要とする6年生までの児童を対象に放課後や夏休みなどに支援を行っている。

・所在地 千葉県浦安市猫実4-9-1

## 2. 実習内容

子供達が使用した食器洗い、トイレ掃除、加配児童の支援、支援児童の日誌、健常児の学習サポート、子供のおやつ準備、掃除、誕生日カードの作成

## 3. 実習の成果

今回体験したインターンシップは、子供が相手の実習だったので、ビジネスマナーや業務知識などを学ぶことは出来ませんでした。自分自身が実際に体験し、目の当たりにしなければわからないようなことをたくさん学ぶことが出来ました。子供達は100人いたら100人が様々な個性を持っています。指導担当の主任からも、子供達の扱い方や加配児童の特徴を、言葉で教わることが出来ない部分が多くあり、自分の経験で学んでいくことがたくさんありました。初日はわからないことばかりで、思っていた以上に子供達は大人のことをじっくり観察しているので、どうすれば2週間しかいない私に心を許して接してくれるのか悩むことがありました。思春期に入った子供たちから暴言を吐かれたり、加配児童につねられたり引っかけられたりすることは何度かありましたが、自分で考えながら子供の気持ちに寄り添うことで、次第にコミュニケーションが取れ、達成感が生まれました。このような体験から、世の中には大変苦勞して子供を育てている方がたくさんおり、またそのような人達をフォローする人達もたくさん必要だということを感じました。そして、今回経験した相手の気持ちをよく考え理解することは、今後、人を相手とするサービス業や接客業に就く際にも役に立つのではないかと思います。

## 4. 実習の感想

2週間、児童指導員を体験しましたが、思っていた以上に楽しく仕事が出来ました。学年ごとに様々な子供達がいて、自分が育った環境とは違う世界を見る事が出来、子供達から学ばされることなどもあってとてもいい勉強になりました。子供達から学んだことで特に印象に残っていることは、8月15日の終戦の日に、小学4年生の女の子に「終戦の日って喜ばばいいの？悲しめばいいの？」と聞かれたときは、冷静に考えてみるとわからなくて、うまく質問に答えることが出来ず、自分自身改めて考えさせられました。子供の質問は、とても純粋で無意識に重要なことにきちんと興味を持っているんだなと知ることが出来ました。加配の子供も何人かおり、1日1人の子を担当し側で見てあげます。私は主に自閉症の小学5年生を2人、毎日交互に見ていました。臨床心理学の授業で習った自閉症の子の症状を実際に目で見て体験することが出来たのはとてもいい経験になりました。その子供達がどうしたら不安を持たずに生活が出来るのか、イライラさせずに学習させられるのかなど、自分なりに考えて初めはわからなかったことが2週間体験していくうちに徐々にわかってくるようになりました。引き続き浦安小学校の学童で、週1回ですがアルバイトをしてもらいたいと言っていたので、今回のインターンシップで自分が苦手だったことや出来なかったことを考えてこれから頑張りたいと思います。

実習日	実習内容
8月8日(月)～ 8月19日(金)	子供達を使用した食器洗い、トイレ掃除、加配児童の支援。支援児童の日誌。健常児の学習サポート。子供のおやつ準備。掃除。誕生日カードの作成。